

B スマートフォンを持たせる場合

購入時にお子様を使用させることを申し出て、①携帯電話会社のフィルタリングを利用するとともに、②WEB(ブラウザ)用と③アプリ用の端末内のフィルタリングを利用しましょう。

WEB(ブラウザ)用のフィルタリングを導入・設定しましょう。

スマートフォンは、①携帯電話会社の電波(3G、4G回線やLTEなど)に加えて、②無線LAN回線を使ってインターネットに接続することができます。

ご自宅や店舗などで無線LAN回線(Wi-Fiなど)に接続させる場合には、フィルタリングが適用されているか確認しましょう。

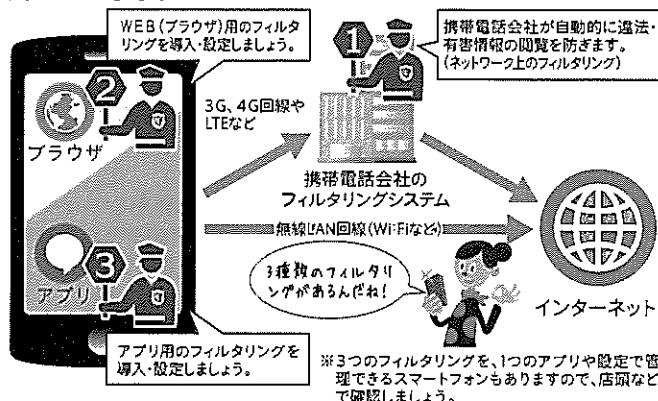
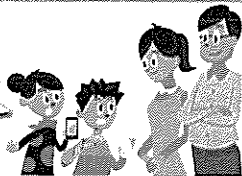
① 携帯電話会社の電波(3G、4G回線やLTEなど)を使ってインターネットに接続する場合

購入時に携帯電話会社のフィルタリングサービスに申し込むことで、自動的に違法・有害情報の閲覧を防ぐことができます。(ネットワーク上のフィルタリング)

② ご自宅や店舗などで無線LAN回線(Wi-Fiなど)を使ってインターネットに接続する場合

無線LAN回線(Wi-Fiなど)を利用する場合には、①フィルタリングが適用されない場合があります。お子様のスマートフォンにWEB(ブラウザ)用のフィルタリングアプリを設定して(端末内のフィルタリング)、違法・有害情報の閲覧を防ぎましょう。

安心してネットが
使えるように
フィルタリング設定
お願い!



③ アプリ用のフィルタリングを設定しましょう。

スマートフォンでは、ホームページなどを閲覧するブラウザ以外にも、様々な機能やサービスを提供するアプリがあります。アプリは、ブラウザを使わずに、直接、インターネットを利用しているため、①や②のフィルタリングが適用されない場合があります。

そのため、お子様の安全で安心できる利用環境を保つには、アプリ用のフィルタリングを導入・設定する必要があります(端末内のフィルタリング)。

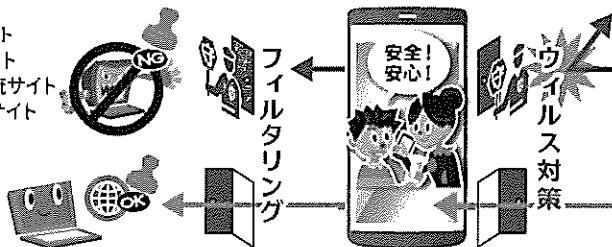
アプリ用のフィルタリングを導入・設定するには、機器にフィルタリングアプリを導入したり、アプリのインストールや起動を制限する機器本体の機能を活用したりする方法があります。スマートフォンによって使い方や設定が異なりますので、購入時に販売店やメーカー、ホームページで確認しましょう。

◎「フィルタリング」と「ウイルス対策」のペアでセキュリティ対策を行いましょう。

危険なサイトに行かないようにする「フィルタリング」

危険なものの侵入を防ぐ「ウイルス対策」

- ・個人情報を盗むなりすましサイト
- ・架空請求などを目的とするサイト
- ・犯罪やトラブルを誘発する交流サイト
- ・ウイルスファイルをまき散らすサイト



- ・健全な運営状態にあるサイト
- ・許可リストにあるサイト
- ・その他、安心な一般サイト

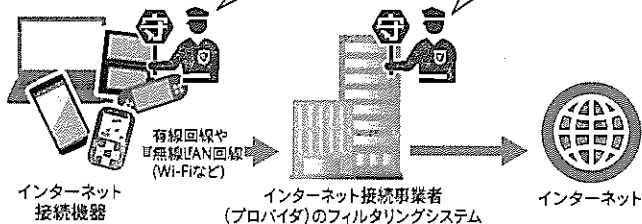
- ・ウイルスなどの不正プログラム(不正アプリを含む)
- ・ウイルスなどが仕込まれたメール
- ・アドレス帳など、個人情報へのアクセス

- ・一般的なメールやメルマガ
- ・友人や知人からのメッセージ
- ・信頼できるアプリ など

C パソコン・ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーを持たせる場合

インターネット接続機器ごとに利用方法・設定が異なります。(端末内のフィルタリング)

インターネット接続事業者が違法・有害情報の閲覧を防ぎます。(ネットワーク上のフィルタリング)



● お子様に機器を持たせる前に設定する

保護者の目が届かないところで、お子様がインターネットを利用する可能性がある場合には、どんなときでもお子様の安全を守ることができるよう、フィルタリングや閲覧制限・課金制限などのペアレンタルコントロール機能を積極的に利用しましょう。

タブレット型携帯端末や携帯音楽プレイヤーの中には、インターネットに接続してスマートフォンと同じようなアプリやサービスを利用できるものもあります。お子様がどのような場所・環境で、どのようなサービスを利用しているかご存知ですか? 無線LAN回線(Wi-Fiなど)の利用などについて、普段の会話の中で確認しておきましょう。

◎コミュニティサイトの利用を通じて被害を受けた青少年のうち、9割以上がフィルタリング未加入です。

平成21年以降、毎年1,000人を超える児童が青少年保護育成条例違反などの福祉犯の被害に遭っています。引き続き、保護者や関係機関・団体による青少年保護の取組が必要です。(警察庁「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果について」などより)

4 チェックシートで保護者の役割を確認しましょう。

お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができることを、もう一度確認しましょう。

3つのポイント

チェックを入れて確認してみましょう。

発達段階に応じて、

- 適切にインターネットを利用させましょう。
- 家庭のルールをお子様と一緒に作りましょう。
- お子様を持たせる機器にはフィルタリングなどを設定しましょう。

● お子様を見守りましょう

- 使い始めはお子様と一緒にインターネットを利用して、インターネットを適切に利用するための知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力をそれぞれ身につけさせましょう。
- 日頃のお子様の行動や判断能力などから、インターネットを「使いこなす力」がどの程度身につけているのか見極めましょう。
- お子様の成長に合わせて、持たせる機器や利用できるサービスの範囲を広げるなど、インターネットを利用させる環境を段階的に整えていきましょう。
- お子様がどのようなサービスを使いたいのか話を聞いて、一緒に利用してみましょう。お子様の方が詳しい場合でも、見守ることが大切です。
- 保護者の心配な点を伝え、お子様自身に考えさせてみましょう。

● お子様と会話をしましょう

- お子様と顔を合わせて、普段の出来事やインターネットの使い方について会話をしましょう。
- 表情を見ながら会話することで、過度の利用で寝不足になっている、トラブルに巻き込まれて落ち込んでいるなど、お子様の「サイン」を見つけることが大切です。

◎最新のニュースや、ソーシャルメディアの利用に関するルール作りなどを確認しましょう。

安心ネットづくり促進協議会(安心協)は、企業、団体、有識者が連携して、青少年の安全安心なインターネット利用を推進する非営利団体です。
ソーシャルメディアガイドラインの作り方のポイントなど、様々なコンテンツがご覧いただけます。

<http://good-net.jp/>

スマートフォンは
こちらから→

安心協

検索



● 利用者情報や課金などについて

- 迷惑メールや架空請求メールなど、不明なサイトはクリックせずに、すぐに相談するように伝えましょう。
- アプリを利用する際には、プライバシーポリシーなどを読み、取得される利用者情報の範囲や目的などをよく確認しましょう。また、意図せずに、電話帳情報や位置情報(GPS)などの利用者情報が送信されないよう、機器やアプリのプライバシー設定を適切に変更しましょう。
- フィルタリングなどの設定に必要なパスワードは保護者が確実に管理しましょう。
- 保護者のクレジットカードを無断で使うことはできません。ゲームなどの課金について、お子様と話し合しましょう。



インターネットの安全で便利な使い方をもっと教えてほしい！
保護者も、スマホを実際に使って、一緒に学んでほしい！

● 保護者自身が気を付けること

～お子様は保護者の行動を見て、学び・育ちます。

- お子様はインターネットを「使いこなす力」を身につけるためには、お子様が安全に安心してインターネットを利用できる環境を整える必要があります。お子様とともに、保護者自身がインターネットに関する知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力をそれぞれ身につけることが重要です。
- お子様は保護者の行動を見て、学び・育ちます。保護者もお子様も、インターネットの過度の利用には注意しましょう。とりわけ、モバイル端末は、いつでもどこでもインターネットを利用できるため、長時間利用しがちです。節度のある使い方ができるよう、ご家庭のルールを作ることが大切です。

5 小さなことでも気軽に相談しましょう。

● 機器の購入時に相談窓口を確認しましょう。

インターネット接続機器の購入時は、フィルタリングやペアレンタルコントロール機能の利用方法・設定について、相談できる窓口を確認しておきましょう。

青少年インターネット環境整備法第18条において、インターネット接続事業者(プロバイダ)は利用者から、フィルタリングサービスを求められた場合は提供する義務があります。

● 専門機関に相談しましょう。

- ◎ 学校関係者やウェブサイト運営者などからインターネット上の違法・有害情報などに関する相談を受け付ける窓口です。
違法・有害情報相談センター(業務委託元:総務省)
<http://www.ihaho.jp/>
- ◎ インターネット利用者からインターネット上の違法・有害情報に関する通報を受け付ける窓口です。
インターネット・ホットラインセンター(業務委託元:警察庁)
<http://www.internethotline.jp/>
- ◎ 保護者や子どもからの相談を電話またはメールにより受け付けている警察の窓口です。都道府県の少年相談窓口(ヤングテレホンコーナーなど)又は最寄りの警察署まで相談してください。
警察庁ホームページ ⇒ お知らせ ⇒ 各種相談などがある方に ⇒ 都道府県警察の少年相談窓口について
各都道府県の少年相談窓口
<http://www.npa.go.jp/higaisya/shien/torikumi/madoguchi.htm>

● 保護者同士で相談しましょう。

流行りのツールを使っていないと仲間はずれになるのではなかなど、保護者の心配の種は尽きません。日頃から不安に思っている事や子どもが何に関心を持っているか、またトラブル事例などを身近な保護者間で話題にしましょう。

子ども達同士でルールを作らせたり、学校、学級、地域と連携することで防げるトラブルもあります。

- ◎ 商品やサービスなど消費生活全般に関する苦情や問合せなど、消費者からの相談を専門の相談員が受け付け、公正な立場で処理にあたっている消費生活センターなどの窓口です。

消費者ホットライン 電話 0570-064-370

- ◎ インターネット上の人権侵害に関する相談を受け付ける窓口です。
法務局の人権相談窓口(みんなの人権110番)
電話 0570-003-110

人権相談

検索



違法・有害
情報相談センター



インターネット・
ホットラインセンター



各都道府県の
少年相談窓口



平成25年度 青少年のインターネット利用環境実態調査

調査結果(速報)

平成26年2月

内閣府

調査概要

1. 調査目的

平成21年度～平成24年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

2. 調査設計

- (1) 方法: 調査員による個別面接方式
- (2) 対象: ①満10歳から満17歳までの青少年(3,000人) ②上記青少年の同居の保護者(3,000人)
- (3) 期間: 平成25年11月9日～12月8日
- (4) 回収結果: ①青少年調査 1,817人(60.6%) ②保護者調査 1,993人(66.4%)

3. 企画分析会議

- 委員長 藤原 静雄 (中央大学法科大学院 教授)
- 委員 生田 倫子 (神奈川県立保健福祉大学 専任講師)
- 国分 明男 ((一財)インターネット協会 副理事長)
- 小豆川 裕子 ((株)NTTデータ経営研究所 ソーシャルイノベーション・コンサルティング本部 上席研究員)
- 西田 光昭 (千葉県柏市立中原小学校 校長)

4. 備考

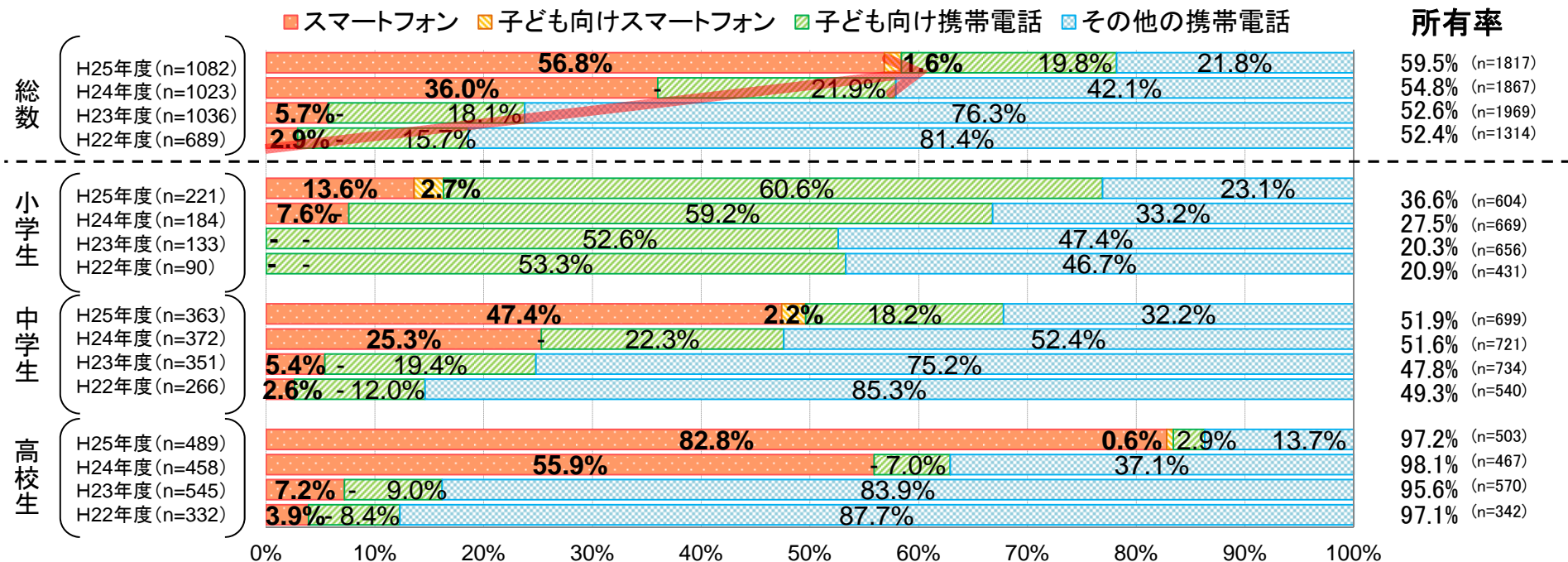
- ・「携帯電話・スマートフォン」とは、「スマートフォン」「機能限定スマートフォンや子ども向けスマートフォン(以下、子ども向けスマートフォンという。)」 「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話(PHSを含む)(以下、子ども向け携帯電話という。)」 「その他の携帯電話(PHSを含む)(以下、携帯電話という。)」を指す。
- ・「携帯電話」とは、「携帯電話」及び「子ども向け携帯電話」を合算したもの、「スマートフォン」とは、「スマートフォン」及び「子ども向けスマートフォン」を合算したものを指す。
- ・「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。
- ・平成22年度～平成24年度における「子ども向け携帯電話」は、「子ども向けスマートフォン」を含む。

ポイント① 青少年の携帯電話・スマートフォンの所有状況

スマートフォンを所有する青少年が増加。

青少年の携帯電話・スマートフォンの所有率及び所有機種

(青少年調査)



(注1) 「青少年の携帯電話・スマートフォンの所有機種」は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「所有率」は、青少年回答者全体のうち、携帯電話・スマートフォンを持っている率を示す。

(注3) 平成22年度～平成24年度における「子ども向け携帯電話」は、「子ども向けスマートフォン」を含む。

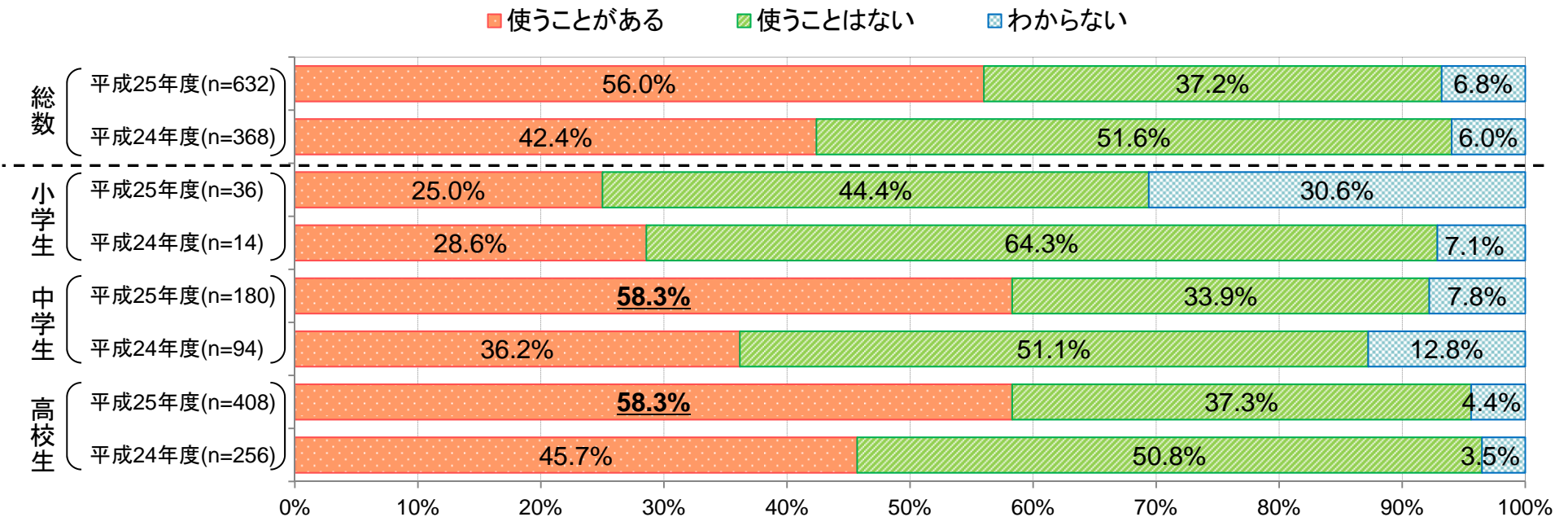
青少年が所有する携帯電話・スマートフォンのうち、スマートフォンの占める割合は、小学生では1割台後半、中学生では約5割、高校生では8割台前半。

ポイント② 青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用状況

青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率は、中・高校生で増加。

スマートフォンの無線LAN回線の利用状況

(青少年調査)



(注) 「スマートフォンの無線LAN回線の利用状況」の数値は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年のうち、スマートフォンを持っている青少年をベースに集計。

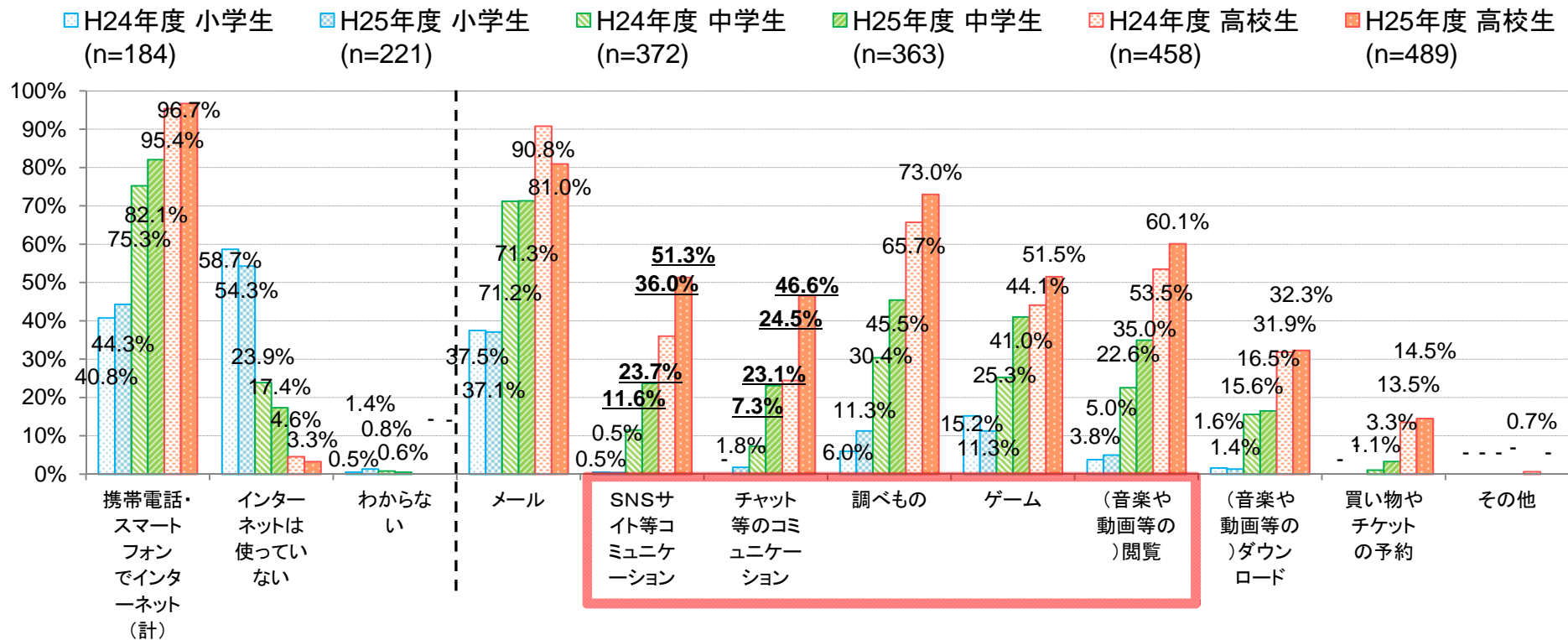
スマートフォンを所有する青少年のうち、無線LAN回線を利用する割合は、小学生の2割台半ば、中・高校生の6割弱。

ポイント③ 青少年のインターネット利用状況 - 1 (携帯電話・スマートフォン)

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用が常態化。

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用状況

(青少年調査)



(注) 「青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用状況」は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年をベースに集計。

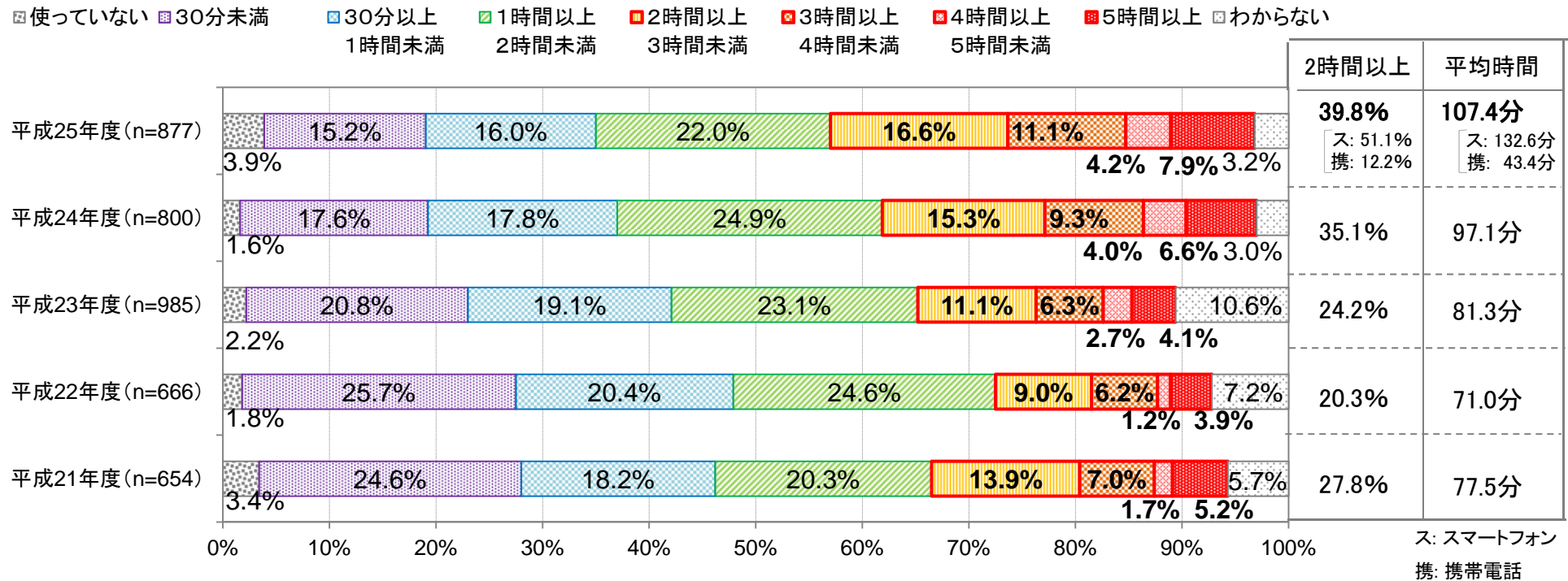
携帯電話・スマートフォンを所有する青少年のうち、小学生の4割台半ば、中学生の8割台前半、高校生の9割台後半がインターネットを利用。利用状況は、中高生では、SNSサイト等やチャット等のコミュニケーション、調べもの、ゲーム及び(音楽や動画等の)閲覧が増加。

ポイント④ 青少年のインターネット利用状況 - 2 (携帯電話・スマートフォン)

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用が長時間化。

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間(経年比較)

(青少年調査)



(注1) 「青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間」は、携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日当たりの携帯電話・スマートフォンのインターネット利用時間の平均値を集計。

携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用している青少年のうち、約4割が2時間以上インターネットを利用。平均時間は約107分。